

資料 2

大分県循環器病対策推進計画の 進捗状況について

第3章 全体目標

○健康寿命【参考資料2 P5】

項目	計画策定時の 現状値	目標 〈令和5(2023)年度〉	令和4年度末実績	備考	主な取組
健康寿命(男性)	2016年:71.54歳(36位)	3年以上延伸 (2016年比)	2019年:73.72歳(1位) (+2.18歳)	令和6(2024)年公表予定 (令和4(2022)年時点調査)	<ul style="list-style-type: none"> ○健康寿命延伸県民運動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命日本ーおおいた創造会議の開催(R4年度:2回) ・健康寿命延伸月間(10月)に各種団体と連携した健康づくりイベントを実施(イベント開催数:1,161回、参加者:76,472人) ○おおいた食の環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・減塩メニューである「うま塩メニュー」の普及、拡大 うま塩メニュー提供店舗数:278店舗(R4.12月末時点) ○おおいた健康ポイントの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら健康づくりに取り組めるよう、健康アプリ「おおいた歩得(あるとつく)」の普及・活用促進 ・利用者数:79,293人(R5.1月末時点)
健康寿命(女性)	2016年:75.38歳(12位)		2019年:76.60歳(4位) (+1.22歳)		

○循環器病年齢調整死亡率(人口10万人あたり)【参考資料2 P5】

項目	計画策定時の 現状値 〈平成27(2015)年〉	目標 〈令和5(2023)年度〉	令和4年度末実績	備考	主な取組
脳血管疾患	男性 34.2 (全国平均37.8)	低減	34.2 (全国平均37.8) ※2015年時点	<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定時から変更なし ・令和5(2023)年12月公表予定 (令和2(2020)年時点調査) 	<ul style="list-style-type: none"> ○大分県循環器病対策推進計画の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・大分県の実情に応じた循環器病対策の総合的・計画的な推進 ○速やかに専門的治療を受診できる仕組みづくり(脳卒中・心筋梗塞等の心血管疾患) <ul style="list-style-type: none"> ・大分県脳卒中医療連携協議会及び大分県心血管疾患医療連携協議会で定めた選定基準を満たす医療機関(超急性期、急性期、回復期を担う医療機関)の一覧を大分県ホームページに掲載
	女性 18.8 (全国平均21.0)		18.8 (全国平均21.0) ※2015年時点		
心疾患	男性 61.0 (全国平均65.4)		61.0 (全国平均65.4) ※2015年時点		
	女性 30.3 (全国平均34.2)		30.3 (全国平均34.2) ※2015年時点		

第4章 個別施策(分野毎の現状・課題と主要な施策の方向性)

1 循環器病予防・正しい知識の普及啓発

①生活習慣や社会環境の改善【参考資料2 P11】

項目	計画策定時の 現状値 <平成28(2016)年度>	目標 <令和5(2023)年度>	令和4年度末実績	備考	主な取組	
食塩摂取量	14.7g(男性)※ 11.3g(女性)※	8.5g(男性) 7.5g(女性)	14.7g(男性)※ 11.3g(女性)※	・計画策定時から変更なし ・令和5(2023)年3月末公表予定 (令和4(2022)年度時点調査)	○減塩メニューである「うま塩メニュー」の普及、拡大 うま塩メニュー提供店舗数:278店舗(R4.12月末時点) ○おおいた歩得利用者数増加への取組 ・おおいた歩得のグループ機能を活かした職場ぐるみでの取組の推進 ・利用者数:79,293人(R5.1月末時点) ○飲食店における受動喫煙対策実態調査実施 ○薬剤師による禁煙サポートの実施 対象:禁煙支援を希望する健康経営事業所の従業員 実施事業所数:5施設、6名(R4年度) ○禁煙支援従事者研修会の開催(R4年度 参加者 242名)	
野菜摂取量	280g(男性)※ 293g(女性)※	350g(男性) 350g(女性)	280g(男性)※ 293g(女性)※			
定期的な運動を実施している者 (1回30分以上、週2回以上、 1年以上継続)	41.2%(男性) 32.3%(女性)	56%(男性) 50%(女性)	41.2%(男性) 32.3%(女性)			
喫煙率	32.6%(成人男性) 8.1%(成人女性)	15.3%(成人男性) 3.7%(成人女性)	32.6%(成人男性) 8.1%(成人女性)			
生活習慣病のリスクを高める量 を飲酒している者 (1日あたり純アルコール摂取量 を40g以上の男性、20g以上の 女性)	14.9%(男性) 12.6%(女性)	9%(男性) 5.2%(女性)	14.9%(男性) 12.6%(女性)			
むし歯のない者 (小学生)	35.5%(男性) 38.8%(女性)	45%(男性・女性)	48.6%(男性 +13.1%) 51.0%(女性 +12.2%)			R4.11月末時点
むし歯のない者 (中学生)	45.8%(男性) 45.6%(女性)	55%(男性・女性)	56.2%(男性 +10.4%) 52.0%(女性 + 6.4%)			R4.11月末時点
むし歯のない者 (高校生)	41.9%(男性) 39.7%(女性)	45%(男性) 40%(女性)	44.2%(男性 +2.3%) 38.4%(女性 △1.3%)	R4.11月末時点		

※食塩摂取量及び野菜摂取量の現状地について、第二次生涯健康県おおいた21中間評価改訂版の値(食塩摂取量 男性:10.4g 女性:8.8g、野菜摂取量 男性:300g 女性:263g)と差異があるのは、調査方法が異なるためです。

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

(1) 健診の普及・予防の取組推進【参考資料2 P14】

項目	計画策定時の 現状値 〈令和元(2019)年度〉	目標 〈令和5(2023)年度〉	令和4年度末実績	備考	主な取組
特定健康診査の受診率	56.40%	70%	54.3% (△2.1%)	R2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○受診率向上を目指した取組実施 <ul style="list-style-type: none"> ・テレビCMやSNS等を活用した普及啓発 ・大分県医師会と特定健診の集合契約を行い、市町村国民健康保険の被保険者が居住地域以外の医療機関で健診を受診できる体制整備
特定保健指導の実施率	29.9%	45.0%	31.1% (+1.2%)	R2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○効果的な保健指導への取組 <ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導担当者等を対象に、専門医による循環器疾患に関する保健指導やコロナ禍におけるオンラインを活用した効果的な保健指導に関する研修を実施

(2) 救急搬送、救急医療体制の整備

① 迅速かつ適切に搬送可能な体制構築【参考資料2 P17】

項目	計画策定時の 現状値 〈令和2(2020)年度〉	目標 〈令和5(2023)年度〉	令和4年度末実績	備考	主な取組
救急要請(覚知)から医療機関への収容までに要した平均時間[分]	37.5	39.0以下	38.7(+1.2)	R3.12月末時点	<ul style="list-style-type: none"> ○「傷病者の搬送及び受入の実施基準」搬送先リスト適時見直し実施 <ul style="list-style-type: none"> ・大分県救急搬送検討部会(大分県救急搬送協議会の部会)において適時実施 ○クラウド統合型救急支援システム等の活用による救急医療体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・救急患者の適切な搬送先の選定や受入体制の確立を図るため、12誘導心電図システムや遠隔画像伝送システム、高精細動態監視システムを統合し、クラウドサービスへの移行に係る経費を支援 ・不必要な患者搬送の防止や救急患者の受入体制の確立を図るため、「Join」を活用し、CT画像等を院外の専門医や搬送先医療機関と共有するシステムの構築に係る経費を支援
一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民が心肺蘇生を実施した件数	11.7	増加	12(+0.3)	R3.12月末時点	<ul style="list-style-type: none"> ○救急車内への新型コロナ抗原検査キットの配備、搬送先選定のため自己検査結果を活用 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ疑いによる救急搬送困難事案の減少を図るため、大分市・別府市における試行開始(R4.12月～) ・試行データを基に効果検証をし、取組地域を拡大。現在8消防本部(局)で実施中(大分、別府、中津、臼杵、宇佐、豊後大野、由布及び日田玖珠) ○AED設置機関への適正管理について県ホームページで周知

(3) 急性期から慢性期までの切れ目のない医療提供体制の構築

① 病床機能分化・連携【参考資料2 P19】

項目	計画策定時の 現状値 〈令和元(2019)年度〉	目標 〈令和5(2023)年度〉	令和4年度末実績	備考	主な取組
将来、不足することが推計されている病床機能の確保	回復期病床の不足 (2,201床)	回復期病床の増加	回復期病床の不足 (2,212床 +11床)	R3.7月時点	○回復期病床等の増改築に必要な施設整備への助成を実施

② 在宅医療の推進【参考資料2 P20】

項目	計画策定時の 現状値 〈平成30(2018)年度〉	目標 〈令和5(2023)年度〉	令和4年度末実績	備考	主な取組
訪問診療を実施している病院・診療所数	356施設 (平成30年度 KDBデータ)	399施設	354施設(△2施設)	令和2年度KDBデータ	○在宅医療セミナーの実施(R4年度:3回) ・対象:在宅医療に取り組む医師 ・希望する医療機関に対し、在宅医療支援アドバイザーを派遣
訪問歯科診療を実施している歯科診療所数	189施設 (平成30年度 NDBデータ)	増加	191施設(+2施設)	令和2年度NDBデータ	○在宅歯科診療に関する研修会実施(R4年度:3回) ・研修内容:「人生の最期まで口から食べられる社会を目指して」 ・受講人数:94名
訪問薬剤指導を実施している薬局数	220施設 (平成30年度 NDBデータ)	増加	263施設(+43施設)	令和2年度NDBデータ	○在宅での薬物治療を支援する取組の実施 ・薬剤師を対象に、在宅研修会を実施 ・医薬品の適正使用の周知のため、啓発活動を実施 ○人生会議に関する理解促進のための取組の実施 ・人生会議や在宅医療に関する県民向けセミナーの実施(参加者数:86名) ・人生会議リーフレットの配布

③循環器病に対する医療の質の向上、均てん化【参考資料2 P24】

項目	計画策定時の 現状値 〈令和2(2020)年度〉	目標 〈令和5(2023)年度〉	令和4年度末実績	備考	主な取組
救急要請(覚知)から医療機関 への収容までに要した平均時間 [分](再掲)	37.5	39.0以下	38.7(+1.2)	R3.12月末時点	<ul style="list-style-type: none"> ○「傷病者の搬送及び受入の実施基準」搬送先リスト適時見直し実施(再掲) ・大分県救急搬送検討部会(大分県救急搬送協議会の部会)において適時実施 ○クラウド統合型救急支援システム等の活用による救急医療体制の充実(再掲) ・救急患者の適切な搬送先の選定や受入体制の確立を図るため、12誘導心電図システムや遠隔画像伝送システム、高精細動態監視システムを統合し、クラウドサービスへの移行に係る経費を支援 ・不必要な患者搬送の防止や救急患者の受入体制の確立を図るため、「Join」を活用し、CT画像等を院外の専門医や搬送先医療機関と共有するシステムの構築に係る経費を支援 ○救急車内への新型コロナ抗原検査キットの配備、搬送先選定のため自己検査結果を活用(再掲) ・コロナ疑いによる救急搬送困難事案の減少を図るため、大分市・別府市における試行開始(R4.12月~) ・試行データを基に効果検証をし、取組地域を拡大。現在8消防本部(局)で実施中(大分、別府、中津、臼杵、宇佐、豊後大野、由布及び日田玖珠)
心不全手帳導入件数	160件	400件	1,091件(+931件)	R5.2月末時点	<ul style="list-style-type: none"> ○心不全対策の推進 ・ハートノート(心不全手帳)及び自己管理用紙の配布・活用推進 ・心不全患者重症化・再発・入院予防のための多職種連携、地域連携の強化のための研修実施(R3年度:3回開催、219名参加) ・心不全緩和ケアの普及のための、介護職向け症例検討会や講習会の実施(R3年度:1回開催、85名参加)

(4)社会連携に基づく循環器病対策、循環器病患者支援

①地域包括ケアシステムの構築推進【参考資料2 P26】

項目	計画策定時の 現状値 〈令和元(2019)年度〉	目標 〈令和5(2023)年度〉	令和4年度末実績	備考	主な取組
要介護2以上の年齢調整後認定率全国順位	3位	1位	6位	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○地域包括ケアシステム構築に向けた取組実施 ・地域ケア会議を中心に知見のあるスーパーバイザーを派遣 現状把握とともに地域ケア会議の強化・充実、地域課題の解決に向けた伴走型支援を実施 ・医療・介護連携推進部会の開催(R4年度:2回)

④かかりつけ薬剤師・薬局による服薬情報の一元的・継続的把握と指導【参考資料2 P29】

項目	計画策定時の 現状値 〈令和3(2021)年度〉	目標 〈令和5(2023)年度〉	令和4年度末実績	備考	主な取組
かかりつけ薬剤師指導料 届出薬局数	50%	60%	53.3%(+3.3%)	R5.1月時点	<ul style="list-style-type: none"> ○健康サポート薬局・かかりつけ薬剤師活用に関する周知啓発

(8) 循環器病の後遺症を有する方に対する支援、治療と仕事の両立支援

① 患者の状況に応じた両立・就労支援、経済的支援体制、相談支援体制の整備 【参考資料2 P34】

項目	計画策定時の 現状値 〈令和2(2020)年度〉	目標 〈令和5(2023)年度〉	令和4年度末実績	備考	主な取組
難病患者の就職件数(※難病患者就職サポーターを通じた就職者実績を基に算出)	26件	30件	23件(△3件)	R5.1月末時点	○難病患者の就労に関する支援実施 ・公共職業安定所等の関係機関と連携した就労支援を実施

(9) 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

① 小児から成人まで切れ目のない医療体制整備、療養生活に係る相談支援・児童の自立 【参考資料2 P36】

項目	計画策定時の 現状値	目標 〈令和5(2023)年度〉	令和4年度末実績	備考	主な取組
自身の病名や治療内容について把握している小児慢性特定疾病患者(7歳以上)の割合	74%	77%	85%(+11%)		○移行期医療の推進に向けた実態把握・情報収集実施 ・患者(保護者)へのアンケート調査実施

※「把握している」、「概ね把握している」と回答した割合を計上。